

1. 透析患者の末梢虚血性合併症に対する高気圧酸素療法の効果

武田 明*¹⁾ 佐藤俊博*¹⁾ 藤 良英*¹⁾
 清水信夫*¹⁾ 谷川行雄*¹⁾ 高橋 宏*¹⁾
 当間健夫*¹⁾ 鳥山高伸*²⁾ 川原弘久*²⁾

〔*¹⁾借行会名古屋共立病院医用技術部〕
 〔*²⁾ 同 内科〕

【目的】慢性透析患者の長期生存が可能となり、加えて糖尿病性腎症の増加に伴い、長期透析合併症は多様になってきている。中でも末梢循環不全や虚血に起因する様々な機能障害は、心疾患のように重篤な事態に至らずとも、患者の社会生活上大きな問題となる。当院にて一昨年より導入した高気圧酸素療法 (HBO) のこれらの疾患に対する成績を報告する。

【結果】HBO 治療対象患者は延べ124名、対象疾患の内わけは閉塞性動脈硬化症及び糖尿病性末梢循環障害29%、イレウス47%、脳梗塞10%、脊髄症9%、突発性難聴2%であった。定量的な評価は行っていないが、疼痛の改善や歩行距離の向上等患者の改善感での効果判定は、全疾患で71%の有効率であった。この内1例はアミロイドーシス由来の虚血性イレウスであり、HBO 前後で内視鏡所見上明かな改善が見られた。

【結論】今後更に増加の予想される透析患者の末梢虚血性合併症に対し、HBO は有用と思われた。

2. 蘇生后、意識障害に対して高気圧酸素療法が有効だった一症例

菊地康久*¹⁾ 柳田国夫*²⁾ 浜田勝男*²⁾
 伊藤樹史*²⁾ 柳生久永*³⁾ 木口俊朗*³⁾
 桂 善也*³⁾ 成島勝彦*³⁾ 則武昌之*³⁾
 松岡 健*³⁾

〔*¹⁾東京医科大学霞ヶ浦病院高気圧酸素室〕
 〔*²⁾ 同 麻酔科〕
 〔*³⁾ 同 第5内科〕

【はじめに】低酸素症、脳虚血による脳障害等に対する治療法は各施設等によりさまざまに試みられ、報告されているが今回我々は、首吊り自殺による呼吸停止后、蘇生患者に対し高気圧酸素 (以下 OHP) 療法を開始し、早期に意識の改善ができたので、若干の考察を含めて報告する。

【症例】48歳女性。家族が自宅庭にて首をつっているのを発見。すぐ人工呼吸、心マッサージを施行、蘇生后当院救急外来に救急車にて来院。来院時 (Jcs) III-100、両眼上転、自発呼吸あり除脳硬直様肢位を呈していた。脳波所見は低酸素性による広範な除波が見られた。第1病日脳波施行后 OHP 開始となった。1回目終了時、治療前と比較し動眼の対光反射改善が見られた。第2病日、OHP 前レベル10程度に改善されるも呼名に対しては返答はなかった。終了時呼名に対して返答できるまでに改善された。第3病日、レベルはクリア、自力歩行、会話できる様になった。脳波所見も広範な除波は改善していた。

【結語】蘇生后比較的早期に OHP を開始する事により低酸素性脳症を改善することができた。